

# 輝く未来へ

令和8年5月1日 文責:大里 昌輝

## ◆ 体育会練習が始まりました

4月24日(金)の4校時に、体育会決起集会を行いました。この決起集会から体育会の取り組みがスタートしました。集会の中では、実行委員長の瀧本旺司さんは「実行委員でもなく、3年生でもなく、みなさん一人ひとり、全員が主役になれる体育会にしたい…」と訴えていました。個人で決めた目標、各学級目標そして生徒会スローガン「HAPPINESS」が達成できるよう、精一杯取り組んでください。



## ◆ 「輝く未来へ」

日が暮れると本校の駐車場には「輝く未来へ」という文字がきれいに浮かび上がります。これは、作成当時の美術部3年生が芸術文化祭の「希望」というテーマを自分たち筑穂中学校の生徒へのメッセージとして「輝く未来へ共に歩いていこう!」という想いにかえて作成した美術部の作品です。この言葉は本校が取り組んでいる「キャリア教育」の目的ともつながることから、本年度の学校通信のタイトルにしました。

「キャリア教育」とは、みなさん一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てる教育のことです。単に「将来の職業を決める」だけでなく、生涯にわたって自分らしい生き方を選択し、社会の中で役割を果たしていくための力を養うことを目的としています。

では、具体的にはどのような力なのでしょう。それは、次のような力です。

- ・他者と協力し、より良い人間関係や社会を築く力
- ・自分の強みや課題を知り、自らを律する力
- ・直面した問題に対して情報を集め、解決策を考える力
- ・将来を見据え、自分で進路や生き方を選択する力

筑穂中学校の3年間で、このような力を身につけて、みなさんがそれぞれの「輝く未来」へ羽ばたき、志をもって夢をかなえることを切に願っています。

## ◆ 「名前を残さないヒーロー」～地域の方から～

先週土曜日、地域の方から心温まるお電話をいただきました。

「昨日、スーパーで買い物をしていたときのこと、私は足が悪く、買い物をするのもやっとの状態でした。そんな中、一人の中学生が声をかけてくれて、車に荷物を積むところまで手伝ってくれました。本当にうれしくて、名前を聞いたのですが、『名乗るほどではありません』とだけ言って、そのまま立ち去っていきました。筑穂中学校の生徒さんだったので、どうしても感謝を伝えたくてお電話しました。」

そのときの情景が目浮かび、心がほっこり温かくなりました。困っている人に自然に手を差し伸べること、名前も残さずその場を去ること。本当に優しさが伝わる、美しい姿だと感じます。誰かの一日を、そっと明るくするような行動を「当たり前」に実践できる筑穂中の生徒がいることを、心から誇りに思います。